

①講演会 講師例



「母を亡くした震災を越えて」
陸前高田市出身 美容師 伊藤 英さん



「生きる・関わる・備える」
長洞元気村 代表 村上 誠二さん

全体講演では実際に被災した方から、震災当日や復旧、復興についてのリアルな体験をお伝えします。

被災から何を想い、その経験をどう消化し、今、どう生きているのか。

そして、被災から何を学ぶことができるのかを、一緒に考える時間にしていきたいと思えます。

②ワークショップ 様々なテーマをご提案します



防災・減災（ハード面）

どんな防災設備がいいの？
（防潮堤の是非）

防災・減災（ソフト面）

どんな防災教育がいいの？
（釜石の奇跡からの学び）



一次産業（漁業）

美味しい牡蠣を
多くの人に届けたい
（ブランディング）

三次産業（観光・学校）

もっと多くの学校に
修学旅行で
来てもらうには？



一次産業（農業）

若者が集まる農業とは？
（後継者を増やす）

三次産業（観光・外国人）

外国人観光客は
どうしたら来てくれる？



陸前
高田

二次産業（特産品）

地元銘酒「酔仙」の販売拡大
（マーケティング）

起業

陸前高田で起業するとしたら
どんなビジネスを起こす？



②ワークショップ テーマ例

もし皆さんが震災が起きた時の陸前高田市長だとしたら、震災後、どんな防潮堤を作りましたか？（作らないという回答も可）下記の二つのケースを読んだうえでグループの考えをまとめてください。

グループの意思決定：

その理由：

①

②

③



大津波襲来で明暗を分けたもの～東日本大震災の現場から～
田老と普代村、ふたつの巨大防潮堤

<https://www.risktaisaku.com/articles/-/3323>



[宮城県女川町]千年に一度のまちづくり 人口減少率日本一からの持続可能性への挑戦

<http://www.rise-tohoku.jp/?p=8884>

③大学生とのグループセッション



少グループごとに大学生がつき、陸前高田に関する様々なテーマ（震災、生活、仕事、食べ物、方言など）でのセッションやフリートークを交えてワクワク感を引出します。

【スケジュール例】

時間	大項目	内容	ポイント
13:05	初めの言葉・導入	導入、本日の目的確認 ・大学生自己紹介 ・目的確認(やる内容とか) ・体を動かす	わかりやすくシンプルに伝えること 笑顔で、安心感を与えられるように自己開示をする
13:10	クイズ形式で授業	時間(10) テーマ「陸前高田市に関する○*クイズ」 陸前高田市を知り尽くした大学生が考えたクイズを5問出します！！6チームに分かれ、チーム対抗戦で行う1番多く正解したチームには全員で大きな拍手を送る例)今年、陸前高田市を訪れる学生は何人でしょうか？	めっちゃめっちゃ楽しく思いっきりやる 振り大きく！ シンキングタイム10秒
13:20	プレスト大会	時間(20) (説明・イメージ共有(3)) ↳プレストの説明 ① 6, 7人×6グループに分かれる 「田舎の良い所をプレスト」(6) ②陸前高田でやりたいことを1つ付箋に書き込む(6) ③模造紙に貼る(5) (お互いのやりたいことが可視化できる状態) ↳大学生がそれに対してエピソードや体験を話す	→具体的なエピソードと感情が出てくるイメージ
13:40	大学生の挨拶		

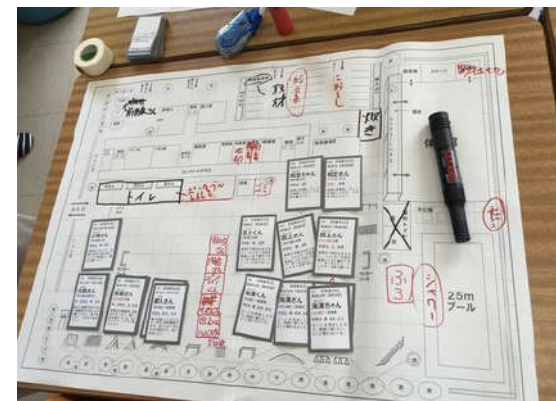
④ 避難所運営体験HUG

1 避難所運営ゲーム(HUG)について

- ✓ 目的：防災学習とチームビルディング
- ✓ 避難所(H)運営(U)ゲーム(G)とは：避難所で起き得る状況の理解と適切な対応を学ぶシミュレーション型訓練。
- ✓ 概要：ある市の避難所運営を任されたという想定の下で、次々にやってくる避難者の状況や要望を考慮しながら、迅速かつ適切に対応する術を学ぶゲーム様式の教材。
- ✓ 班分け：男女混合、進行役1名、記録係1名、発表1名、他3名 計6名程度/班

2 スケジュール

- 30分 導入 前提条件、目的共有、アイスブレイク
- 60分 ゲーム実施 読み上げ係選出
- 30分 感想共有・発表



④ 避難所運営体験HUG

時間	内容	ポイント	評価（観点・場面・方法）
導入 15分	<ul style="list-style-type: none"> • 本日の目的確認 • 過去の避難所の画像 	<ul style="list-style-type: none"> • 目的を明快にする • 避難所でどんな事が起こるか？ 	<ul style="list-style-type: none"> • 映像を見て体育館が避難所になった時にどんなことが起こるかを理解する
展開 45分	<ul style="list-style-type: none"> • 学校全体の平面図の紙を準備する • 15人分を並べて班ごとに作戦会議(読み手は説明を受ける) • 読み手が班に戻ったら一斉に開始 • カードが置けない項目などをポストイットや紙に書き出し貼っていく 	<ul style="list-style-type: none"> • HUGの説明 • 役割分担を決める(リーダー、読み手、記録係など) • 作業手順の説明 • 条件設定の説明(天候、災害の規模、発生日時など) <p>※カードの枚数は、条件により加減、又は、時間で区切り、まとめ作業に移れるよう時間配分に注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • 読み手が止まらずに読み続けられるようにする • 班内での意見交換が活発に行われているかに注意を払う 	<ul style="list-style-type: none"> • 様々な条件を持った人達が避難してくる状況を理解する(理解力) • 次々と出てくる問題に対する判断ができる(判断力) • 運営者の立場に立って対応を考えられる(思考力・判断力) • 問題に対応することで配慮したこと・心掛けたことを理解する(対応力)
発表準備 10分	<ul style="list-style-type: none"> • 配置のルール • 配慮したこと • 取り組んで困ったこと • 取り組んでの感想 	<ul style="list-style-type: none"> • 外国人や高齢者・乳幼児などを何処に配置したか？ • ベットを連れた避難者の配置など 	<ul style="list-style-type: none"> • 班内の・高齢者や小さい子供達の世話など他者に対する心を養うことが出来る(他者理解) • 意見の共有と(まとめる力)
発表 20分	<ul style="list-style-type: none"> • 班ごとの発表 		<ul style="list-style-type: none"> • 他の班の発表を聞き自らの意見も述べられる(聞く力・考える力)
まとめ 10分		<ul style="list-style-type: none"> • 発表を踏まえて気が付いたことを伝える • 実際の避難所で起こりうる状態をイメージしておくことで、自分たちの役割について考えられるよう話をする 	

⑤教材提供（ワークシートの例）

- 1 最近ニュースで見た自然災害を思い出してください。どんなことがありましたか？

岡山の台風
熊本の地震
インドネシアの津波など

- 2 国連大学によると日本は「自然災害に見舞われる可能性」では世界で第_4_位

- 3 過去、日本において最も犠牲者の多かった自然災害を3つあげてください。

関東大震災（1923年9月1日）
東日本大震災（2011年3月11日）
明治三陸地震（1896年6月15日）

- 4 東日本大震災の犠牲者数（行方不明者含む）

死亡者 19,667名、行方不明者 2,566名
負傷者 6,231名、建物全壊 12万9340棟

- 5 南海トラフ地震が今後30年以内に発生する確率

政府の地震調査委員会は、今後30年以内の発生確率を「70%から80%」と予測

- 6 南海トラフ地震が発生した場合の被害予測

最大32万人の死者
建物全壊 238万6000棟

※参考記事

南海トラフ地震、減災徹底なら死者6万人に減少

https://www.nikkei.com/article/DGXNASDC2900C_Z20C12A8EA2000/

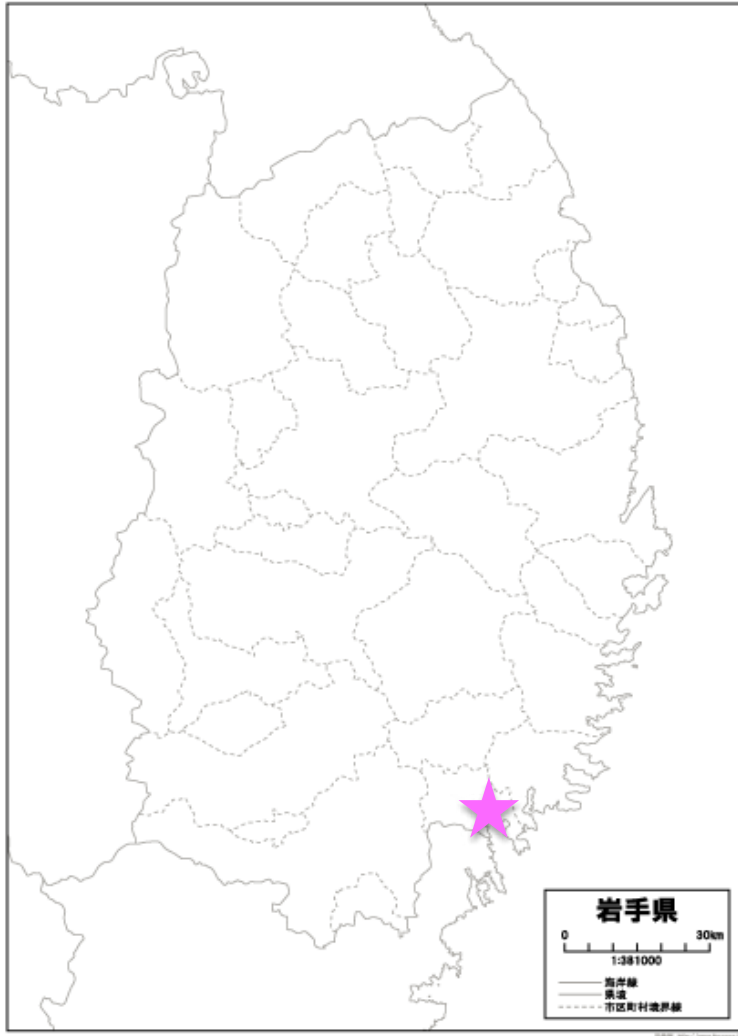
- 7 防災と減災の違いはなんですか？

防災は、被害を「防」ぐという字をあて、被害を出さないことを目指す。

減災は、災害時において発生し得る被害を最小化するための取り組み。ある程度の被害の発生を想定した上で、その被害を低「減」させることを強調するものである。

⑤教材提供 例

- 1 陸前高田市はどこにありますか？
白地図に☆印をつけてください。



- 2 震災時、陸前高田市の人口は何名でしたか？

24,246 人

- 3 陸前高田市の震災の犠牲者は
何名ですか？（行方不明者も含む）

1,757 人

- 4 陸前高田市にきた津波は
最大で何メートルありましたか？

最大 17.6m

- 5 震災前、陸前高田の防潮堤は
何メートルありましたか？

5.5m（中心地）

- 6 陸前高田市が他の地域に比べて被害が
大きくなってしまったのは何故でしょうか。

参照 東日本大震災の対応と教訓（市長）
https://www.isad.or.jp/pdf/information_provision/information_provision/h27/H27_sankouhoukoku3.pdf

⑤教材提供 例

1 皆さんはこれまでにどんな防災教育を受けましたか？

例 毎年、避難訓練をしているが、それ以外は特になし

2 今、想定外の災害（大地震、富士山の噴火など）が起きたとしたら、どこにどのように非難しますか？家族とはどこで落ち合いますか？食料や飲み物はどうしますか？

例 家にいるときには指定されている近所の避難所（公民館）

学校にいるときには、体育館に集まる

家には避難時の食料と水がある（1週間分）のでしばらくそれで賄う

3 「津波てんでんこ」とはどういう意味ですか？また、そこから学べることは何ですか？

例 てんでんことは各自のこと。海岸で大きな揺れを感じたときは、津波が来るから肉親にもかまわず、各自てんでんばらばらに一刻も早く高台に逃げて、自分の命を守れ—という意味だ。

【津波てんでんこ】の4つの意味

https://www.jsnds.org/ssk/ssk_31_1_35.pdf

家族などの大切な人も「各自、絶対に逃げている」という信頼があって初めて成り立つ。

⑤教材提供（映画）



※別紙、マニュアル及びワークシート有り

テーマ：津波避難の3原則

1. 想定にとらわれるな
2. 最善をつくせ
3. 率先避難者たれ

巨大津波から児童を守った岩手県・釜石市の「いのちの防災教育」に学ぶ！

東日本大震災で巨大津波に襲われ、1,000人を超す人たちが命を落としたり行方がわからなくなるといふ甚大な被害を被った釜石市。その中で、“奇跡”と呼ばれる出来事がありました。

地震発生当時、184人の釜石小学校の児童は全員下校しており、家で過ごしたり、海のすぐ近くで遊んでいたりしました。家で弟とゲームをしていた拓馬君、海岸で釣りをしていた6年生のグループ、ひとりで留守番をしていた大喜君…。「子どもたちは助からないかもしれない。」そう覚悟したと先生たちは言います。しかし子どもたちは、経験したことのない大地震の直後、日頃の防災授業や避難訓練を思い出し、大人顔負けの避難行動をとって自分たちの力で生き延びたのです。

子どもたちがどのように考え、判断し、行動したのかを振り返り、危機管理のモデルケースとしても各界から注目される「釜石の奇跡」を、ひも解きます。

⑤教材提供（映画）



テーマ：人間の尊厳とは何かを考える

- ・ 2011年3月11日。日本を襲った未曾有の大震災の中で、報道では伝えきれなかった真実を描く映画。
- ・ 岩手県・釜石市にある廃校となった中学校の体育館を舞台に、遺体の尊厳を守りながらも一刻も早く家族と再会させる為に尽くした人々と家族を描く。



テーマ：困難を乗り越える人間の強さ

- ・ 陸前高田市で農林業を営む77歳の佐藤直志さんが、東日本大震災からの復興に孤軍奮闘する姿を追ったドキュメンタリー。
- ・ 2011年3月11日、佐藤さんは津波で家を流され、息子を亡くす。しかし、被災からわずか3日後にその年の米作りを決意し、5月には知人の田んぼを借りて田植えを始めていた...

⑥事後学習

民泊で感じたこと、何を学んだかを言葉にし、共有し、今後の自分への活かし方を明快にします。

1. 民泊について

- ① 民家の方にしてもらって嬉しかったことは何ですか？

- ② 民家の人のどんなところを素敵だと感じましたか？
(心のこと、仕事のこと、家族のこと、暮らしのことなど…)

- ① ②は、どうしたら自分もそうできるようになりますか？

2. まちについて（陸前高田と横浜）

- ① 陸前高田のいいところをできるだけたくさんあげてください

- ① 陸前高田の課題は何ですか？民家の人たちは何に困っていましたか？

- ① 陸前高田にあって、自分のまちにないものは何ですか？

- ① 上記③を踏まえ、自分のまちが10年後、どうなっていたら理想ですか？

- ① 自分のまちを理想のまちにするために、これから自分ができることはありますか？

3. 震災について

- ① 震災について、陸前高田のひとたちはどのようにとらえていましたか？

- ① 「つなみてんでんこ」について、どのように考えますか？

- ① （震災に限らず）災害にあったときに自分と近い人の命を守るために、今、できることはありますか？

4. 「根っこ」と未来の自分について

- ① 10年後、どんな自分になっていきたいですか？（夢、仕事、家族、住む場所など自由に）

- ① 上記は、何がきっかけでそう思うようになりましたか？具体的なエピソードをお書きください。

- ① 陸前高田で経験し、学んだことで、「なりたい自分」になるために役立つことは何ですか？